

健康を支え災害に備える住まいと暮らし

# CASBEE<sup>®</sup> レジリエンス住宅チェックリスト (2016年版)

## 住まいの「レジリエンス」を高めましょう

レジリエンスとは、外部から受ける力や影響に対する「しぶとさ、強靭さ、回復力」を意味する言葉で、私たちの「住まい」についてもレジリエンスを考える必要があります。

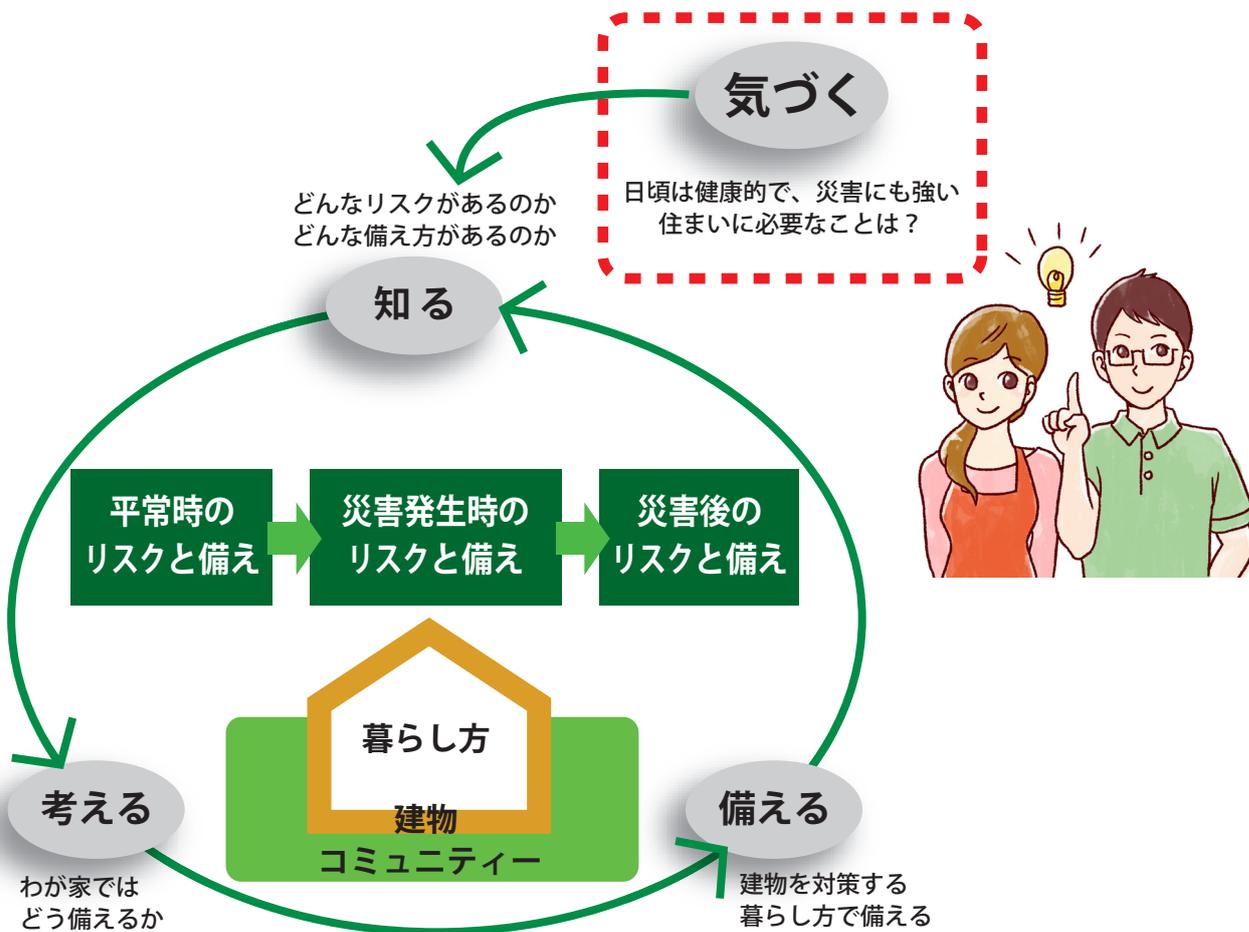
あなたの住まいは、普段は快適に過ごせ、いざ災害が起こった時には命や生活を守ってくれる安全で安心な住まいでしょうか。

住まいの「レジリエンス」を高めるといことは、普段は暑すぎず寒すぎず安全で健康的に暮らせるようにすること、そして災害時には私たちが受ける被害を小さくし、また素早く回復できるようにすることです。

## レジリエンスを高めることに気づく

住まいのレジリエンスを高めるためには、日常の健康リスクや災害のリスクを知り、必要な対策を考え、あらかじめ備えておくことが大切です。実際にどの程度の対策が必要かについては、家族の状況や地域の災害の可能性によって異なります。

本チェックリストでは、現在のお住まいにどのような健康リスクや災害リスクがあるのか、どのような備えが必要かに「気づいて」いただくことを目的としています。本チェックリストを手に、ご家族やご近所の方々などと一緒に考えながら、リスクの把握や必要な備えに取り組むきっかけにしてください。



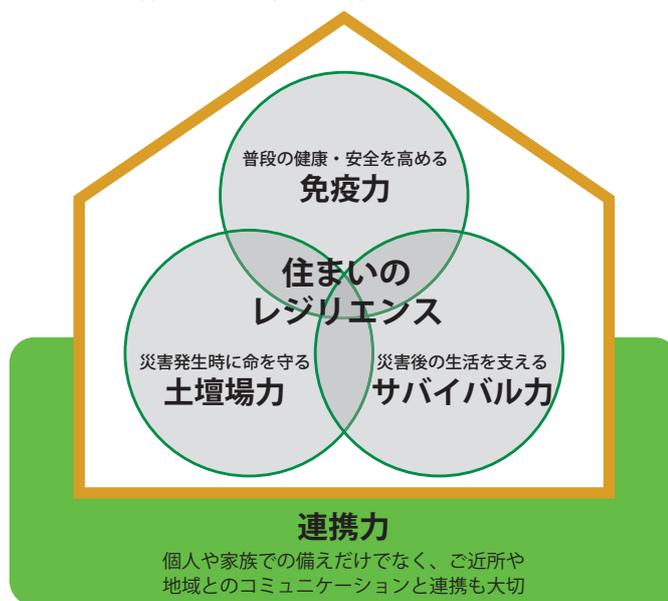
## チェックリストの構成

本チェックリストでは、住まいの建物の性能と住まい手の暮らし方を対象に、平常時の「免疫力」、災害発生時の「土壇場力」、災害後の「サバイバル力」という3つの観点から「住まいのレジリエンス度」を確認します。それぞれには、個人や家族だけでなく、地域の方々と一緒に備える「連携力」も含まれます。

チェック項目は全42項目。簡単で分かりやすい質問ですので、10分程度で回答できます。質問がわからない時には、質問とあわせて記載した解説を参考にしてください。

### 〈平常時のレジリエンス度〉

- ・普段、健康被害や事故が起きにくくなっているか
- ・省エネルギーな住まいと暮らしとなっているか



### 〈災害発生時のレジリエンス度〉

- ・災害のリスクを把握しているか
- ・自らの命を守る行動のための備えができているか
- ・災害が発生した時に住まい手の命を守り、建物そのものの被害を抑え復興しやすい住まいになっているか

### 〈災害後のレジリエンス度〉

- ・災害後、インフラ等の地域の機能が回復するまで、また生活支援が得られるまでの数日間、自活可能な住まいとなっているか

## 「はい」か「いいえ」か、悩んだ時は…

チェックは、「はい」か「いいえ」の二者択一です。どちらかな？と迷った時には、下の例を参考にお答えください。

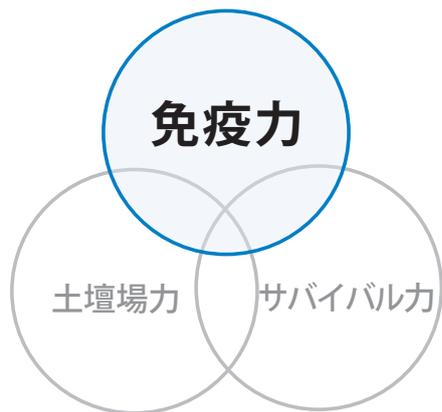
我が家なりに考えて対策している場合は	→ 「はい」
なんとなく知っている、なんとなく備えているといった場合は	→ 「いいえ」
質問が対象としている災害や家族などに当てはまらない場合は	→ 「はい」

12ページの集計表に回答を記入し、「はい」を数えて得点を集計してください。

13ページであなたの住まいと暮らしのレジリエンス度ランキングを確認できます。

それではさっそくチェックしてみましょう！

# 平常時のレジリエンス度



日ごろ、当たり前で過ごしている家の中にも、身体に負担をかけていたり、思わぬ事故の原因が潜んでいたりします。また、いつ起きるかわからない災害に直面した時に、冷静に判断し瞬発力のある対応をするためには、健康な身体でいることが大切。

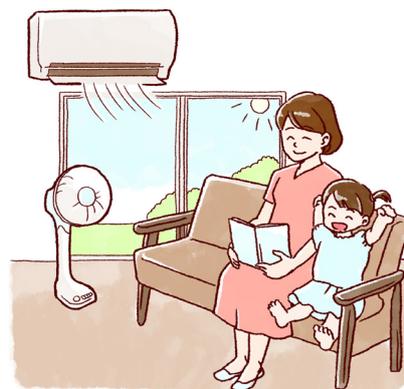
平常時のレジリエンス度チェックをしてみましょう。

## Q1

夏、居間や寝室を涼しくできますか？

はい  いいえ

夏、暑さで室温が高くなると、熱中症を起こすことがあります。エアコンや扇風機などで、涼をとることができる状況かどうかを確認しましょう。

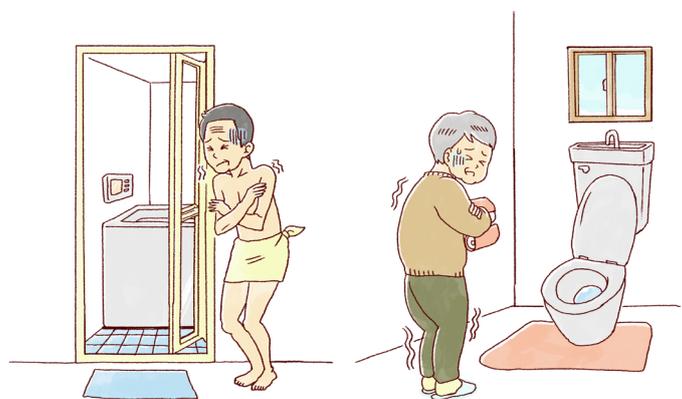


## Q2

冬、トイレや浴室を温かくして使えますか？

はい  いいえ

冬、トイレや浴室が寒いと心臓や血管に負担がかかります。トイレや浴室、脱衣室が断熱されているか、暖房できるかどうかを確認しましょう。



## Q3

日頃、運動したり体力維持に努めていますか？

はい  いいえ

日頃から適度な運動を心掛けることで、メタボを予防し、身体機能と認知機能が向上します。いざという時の瞬発力と体力を養う努力です。

## Q4

気軽に相談できるかかりつけ医はいますか？

はい  いいえ

歯を正常に保つことや、体調の変化に敏感でいることは健康を維持する上でとても大切なこと。かかりつけの医師、歯科医師がいると心強いです。

## Q5

階段や段差で転ばないように対策していますか？

はい  いいえ

急な階段や大きな段差には手すりや滑り防止対策、ちょっとした段差には見落とさない対策やスロープをつくるなどすると安全性が高まります。



## Q6

夜、廊下や階段で足元を明るくしていますか？

はい  いいえ

暗い廊下や階段では、つまずいたり転倒する危険があります。常夜灯や人感センサー付きなど夜間でも点けやすい照明になっていますか？

## Q7

防犯の備えはしっかりできていますか？

はい  いいえ

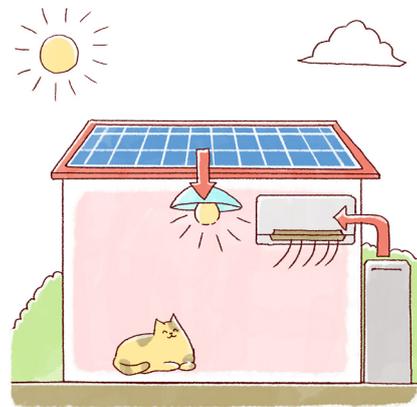
空き巣の侵入を防ぐ窓やドアの対策、不審者を寄せ付けないため家周りに砂利敷きや人感センサー付き照明などの対策をしていますか？

## Q8

太陽光発電などの創エネや蓄電をしていますか？

はい  いいえ

太陽光で発電、燃料電池やガスエンジンコージェネで発電と給湯を行ったり、更に蓄電池を使うと普通の省エネ、停電時のエネルギー自立が可能になります。



## Q9

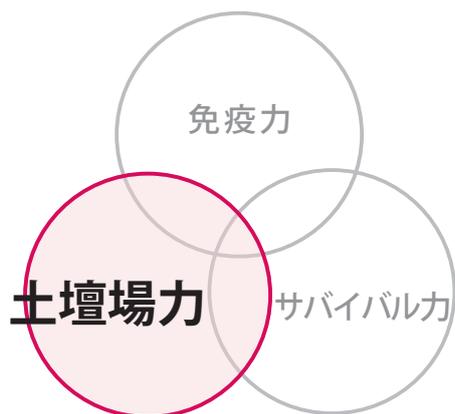
家や設備の点検・メンテナンスをしていますか？

はい  いいえ

家や設備は定期的な点検とメンテナンスを欠かすと性能や効率を維持できません。突然起こる災害の時のためにも点検とメンテが必要です。



# 災害発生時のレジリエンス度



災害発生！その時に、命を守り被害を最小限にするためには、安全な土地と強い建物、そして普段からの備えと防災情報を確実に受け取れる備えが大切。

災害発生時のレジリエンス度チェックをしてみましょう。

## Q10

お住まいの耐震性能は基準を満たしていますか？

はい  いいえ

新耐震基準後（1981年）に建設されていれば、おおむね現在の耐震基準と同等の耐震性能を備えています。それ以前の建物では耐震改修していますか？



## Q11

家具の転倒や食器の散乱を防ぐ備えはありますか？

はい  いいえ

地震時には家具や大型家電製品などが倒れたり飛ぶことがあります。家具や家電製品の転倒防止、食器棚の扉が開かないなどの工夫をしていますか？

## Q12

燃焼器具とガス、電気の自動停止ができますか？

はい  いいえ

ストーブやコンロなどの燃焼器具は地震が発生したら自動停止しますか？ガスの元栓と電気ブレーカーは地震を感知して自動停止することができますか？

## Q13

火災の延焼に関するリスクを把握していますか？

はい  いいえ

または、隣家が離れていて延焼の恐れがない

地震後の火災を想定して、火災が延焼しやすい地域かどうか、ハザードマップなどで把握していますか？また避難ルートを検討していますか？



## Q14

津波の来る可能性と波の高さを把握していますか？

はい  いいえ

津波の来る可能性と想定される津波の高さについて、自治体が公表しているハザードマップなどで把握していますか？

## Q15

津波から逃れる場所やルートを決めていますか？

はい  いいえ  
または津波が来ないことを確認している

津波のくる可能性の高い地域では、家族みんなで短時間に、津波から逃れる場所とルートを決めておく必要があります。



## Q16

洪水、土砂崩れの可能性を把握していますか？

はい  いいえ

大雨時に河川の氾濫による洪水や近くで土砂崩れが発生する可能性、ゲリラ豪雨で敷地が浸水する可能性をハザードマップなどで把握していますか？



## Q17

洪水や土砂崩れに対して備えていますか？

はい  いいえ  
または洪水・土砂崩れの恐れがないことを確認している

洪水や土砂崩れの恐れがある地域では、避難する場所とルート及び夜間や避難の時間がない場合は2階に避難することなど検討していますか？

## Q18

地震時に敷地が液状化しやすいか把握していますか？

はい  いいえ

埋立地や砂が堆積した土地では地震時に液状化する可能性があります。お住まいの土地について自治体が公表している地盤情報などを把握していますか？

## Q19

台風などの強風に対して備えていますか？

はい いいえ

強風時に屋根材や外壁材が剥がれて飛ばないように点検していますか？また飛来物でガラスが割られないよう窓には雨戸やシャッターを備えていますか？



## Q20

大雪に対して備えていますか？

はい いいえ

大雪が降る地域では積雪に十分に耐える強度を持たせたり雪下ろし対策などをしていますか。積雪地以外ではスコップなど雪かきの道具を備えていますか？

## Q21

火山による被害の可能性を把握していますか？

はい いいえ

火山活動による被害（噴火により噴石が近辺に飛散したり噴煙や火山灰が広域に降り注ぐなど）の可能性をハザードマップなどで把握していますか？

## Q22

災害発生時に警報を受信する備えがありますか？

はい いいえ

災害発生時に防災無線や防災ラジオ、携帯電話のエリアメールなどで緊急警報を受信できますか？電池の備えも含め日頃から動作確認していますか？

## Q23

災害発生時の避難情報を理解していますか？

はい いいえ

災害発生時に市町村長等が「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」を発令することがあります。それぞれの意味をしっかりと理解していますか？

市区町村等が発表する避難情報の種類



低

緊急性や避難の強制力

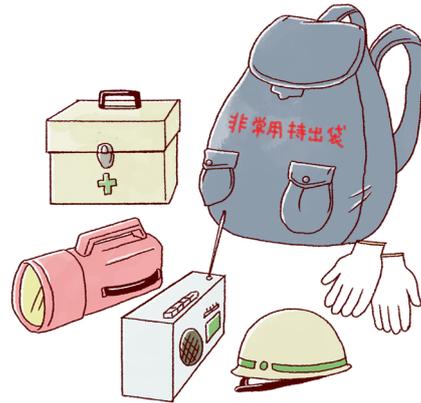
高

## Q24

災害発生時に役立つ防災グッズを備えていますか？

はい いいえ

災害発生時はまず身を守ることが大切。身辺周りの確認や、閉じ込められて救助を求めたり、近隣の救助活動に役立つ防災グッズを備えていますか？



## Q25

通勤、通学先の災害リスクを把握していますか？

はい いいえ

通勤・通学先や経路上で災害に直面した場合のリスクを把握していますか？どのような災害に遭う可能性があるか、その場合の避難先などを確認しましょう。

## Q26

災害時に出勤から帰宅する方法を検討していますか？

はい いいえ

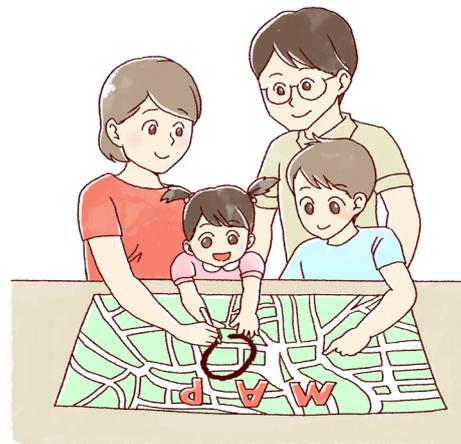
災害時には普段利用している交通機関が機能しない可能性があります。その場合の帰宅方法について家族みんなで検討していますか？

## Q27

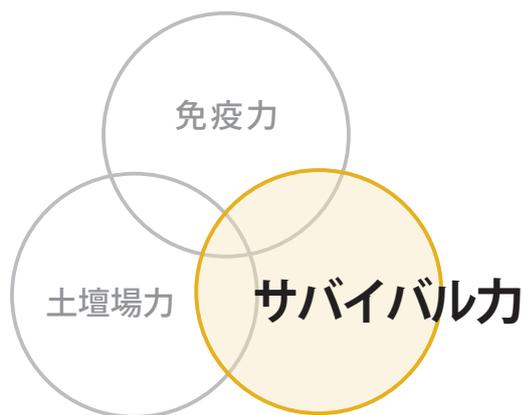
家族の安否確認方法や集合先を検討していますか？

はい いいえ

家族が外出中に災害が発生した場合の安否確認や連絡方法を知り、避難先や集合先を決めておくことが必要です。こうした検討はできていますか？



# 災害後のレジリエンス度



大きな災害の後、水道や電気・ガスが止まっても数日間自宅で過ごせる備え、近隣との助け合い、避難所への移動など、二次災害を防ぐために普段から危機管理体制を整えておくことが大切。

災害後のレジリエンス度チェックをしてみましょう。

## Q28

災害・防災情報を入手する通信機器はありますか？

はい  いいえ

正確な災害情報や防災情報を入手するために、TVやラジオ、通信機器などを備えていますか？またいつでも使えるように動作確認していますか？



## Q29

停電時でも使用可能な電源を備えていますか？

はい  いいえ

太陽光発電、燃料電池やガスエンジンコージェネ、蓄電池及びPHVやEV等は、停電時に通信機器や照明、最小限の家電製品を使用するための電源になります。



## Q30

暖房がなくても数日間しのぐ備えはありますか？

はい  いいえ

災害時にライフラインが停止して暖房できなくなっても、建物に断熱性能があれば寒さはしのげます。代替の暖房器具や防寒具の備えも対策の1つです。

## Q31

断水時に数日間しのぐ飲み水を備えていますか？

はい  いいえ

断水時に必要となる飲料水の備蓄があるかどうか、確認しましょう。備蓄量の目安は、一人一日3リットル程度です。飲料用のろ過器なども有効です。

## Q32

断水時に数日間しのぐ生活用水を備えていますか？

はい  いいえ

断水時にも手を洗え入浴でき、トイレをえることは衛生管理上重要です。生活用水の備えとして、貯水、井戸、給湯機の貯湯槽利用などがあります。



## Q33

災害後に数日間しのぐ食糧を備えていますか？

はい  いいえ

災害時の食糧の備えは、熱や水の使用を抑えて長持ちする保存食の他、調理しやすく日常の中で少し多めに備える「日常備蓄」も有効です。

## Q34

災害後に数日間しのぐトイレを備えていますか？

はい  いいえ

災害後の断水時に、用便に対応する災害用トイレセットの備えや、敷地内や近辺で災害時のトイレが確保できるか確認をしていますか？

## Q35

食糧備蓄場所や井戸の所在を把握していますか？

はい  いいえ

各市町村では災害用の水や食糧を備蓄しています。これらの備蓄場所や災害時に使える井戸の所在などを日頃から確認しておきましょう。

## Q36

避難する際に持ち出すものを揃えていますか？

はい  いいえ

避難する場合にさっと持ち出せる非常用の持ち出し袋を日頃から用意していますか？袋には最低限の水と食糧と生活用品を備えておきます。

## Q37

高齢者や乳幼児の避難について備えていますか？

はい  いいえ

または、移動が難しい  
家族がいない

避難時に高齢者や乳幼児など移動が難しい家族が、確実に移動できる方法を確認しておきましょう。災害によってルートが異なることもあります。



## Q38

避難生活時の緊急の移動手段を備えていますか？

はい  いいえ

自動車やバイクの燃料の備蓄や荷物を積める自転車など、支援物資を受け取ったり、体調を崩した人の移動のための手段を確保していますか？



## Q39

地域の防災訓練や避難訓練等に参加していますか？

はい  いいえ

自治体や団地単位で行われる防災訓練や避難訓練などに参加していますか？こうした訓練では地域の防災計画や自身の備えを知ることができます。

## Q40

日頃からご近所とのお付き合いがありますか？

はい  いいえ

日頃のご近所とのお付き合いは災害発生直後の安否確認、緊急の救助等で役立ちます。コミュニティとのつながりはご近所とのお付き合いから。

## Q41

建物倒壊の危険判定ステッカーを知っていますか？

はい  いいえ

大地震発生後、建物に立ち入ることによる二次災害を防ぐために、当面の危険性を緊急に判断する被災建築物応急危険度判定が行われます。

## Q42

火災保険・地震保険に入っていますか？

はい  いいえ

災害後の建物の復旧には多大なお金がかかります。もしもの時に備えて、火災保険、地震保険に加入しているかどうか確認しておきましょう。

被災建築物応急危険度判定にもとづき表示されるステッカー



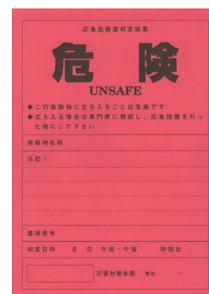
【緑紙】

この建物は使用可能です



【黄紙】

この建物に入る場合は十分注意してください



【赤紙】

この建物に立ち入ることは危険です

出典：全国被災建築物応急危険度判定協議会

# チェックリスト集計表

■氏名 \_\_\_\_\_ ■都道府県 \_\_\_\_\_ ■住宅タイプ 戸建 共同 ■チェック日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月

平常時	Q 1	夏、居間や寝室を涼しくできますか？	はい	いいえ	「はい」の数 / 9点
	Q 2	冬、トイレや浴室を温かくして使えますか？	はい	いいえ	
	Q 3	日頃、運動したり体力維持に努めていますか？	はい	いいえ	
	Q 4	気軽に相談できるかかりつけ医はいますか？	はい	いいえ	
	Q 5	階段や段差で転ばないように対策していますか？	はい	いいえ	
	Q 6	夜、廊下や階段で足元を明るくしていますか？	はい	いいえ	
	Q 7	防犯の備えはしっかりできていますか？	はい	いいえ	
	Q 8	太陽光発電などの創エネや蓄電をしていますか？	はい	いいえ	
	Q 9	家や設備の点検・メンテナンスをしていますか？	はい	いいえ	

災害発生時	Q 10	お住まいの耐震性能は基準を満たしていますか？	はい	いいえ	「はい」の数 / 18点
	Q 11	家具の転倒や食器の散乱を防ぐ備えはありますか？	はい	いいえ	
	Q 12	燃焼器具とガス、電気の自動停止ができますか？	はい	いいえ	
	Q 13	火災の延焼に関するリスクを把握していますか？	はい	いいえ	
	Q 14	津波の来る可能性と波の高さを把握していますか？	はい	いいえ	
	Q 15	津波から逃れる場所やルートを決めていますか？	はい	いいえ	
	Q 16	洪水、土砂崩れの可能性を把握していますか？	はい	いいえ	
	Q 17	洪水や土砂崩れに対して備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 18	地震時に敷地が液状化しやすいか把握していますか？	はい	いいえ	
	Q 19	台風などの強風に対して備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 20	大雪に対して備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 21	火山による被害の可能性を把握していますか？	はい	いいえ	
	Q 22	災害発生時に警報を受信する備えがありますか？	はい	いいえ	
	Q 23	災害発生時の避難情報を理解していますか？	はい	いいえ	
	Q 24	災害発生時に役立つ防災グッズを備えていますか？	はい	いいえ	
Q 25	通勤、通学先の災害リスクを把握していますか？	はい	いいえ		
Q 26	災害時に出先から帰宅する方法を検討していますか？	はい	いいえ		
Q 27	家族の安否確認方法や集合先を検討していますか？	はい	いいえ		

災害後	Q 28	災害・防災情報を入手する通信機器はありますか？	はい	いいえ	「はい」の数 / 15点
	Q 29	停電時でも使用可能な電源を備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 30	暖房がなくても数日間しのぐ備えはありますか？	はい	いいえ	
	Q 31	断水時に数日間しのぐ飲み水を備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 32	断水時に数日間しのぐ生活用水を備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 33	災害後に数日間しのぐ食糧を備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 34	災害後に数日間しのぐトイレを備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 35	食糧備蓄場所や井戸の所在を把握していますか？	はい	いいえ	
	Q 36	避難する際に持ち出すものを揃えていますか？	はい	いいえ	
	Q 37	高齢者や乳幼児の避難について備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 38	避難生活時の緊急の移動手段を備えていますか？	はい	いいえ	
	Q 39	地域の防災訓練や避難訓練等に参加していますか？	はい	いいえ	
	Q 40	日頃からご近所とのお付き合いがありますか？	はい	いいえ	
	Q 41	建物倒壊の危険判定ステッカーを知っていますか？	はい	いいえ	
Q 42	火災保険・地震保険に入っていますか？	はい	いいえ		

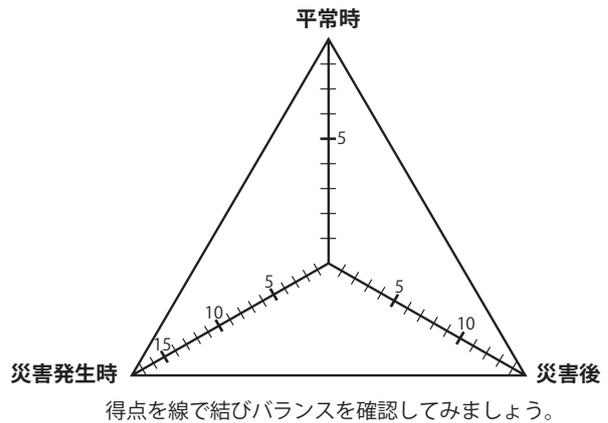
総合 「はい」の数	/ 42点
-----------	-------

# チェック結果 あなたの住まいのレジリエンス度

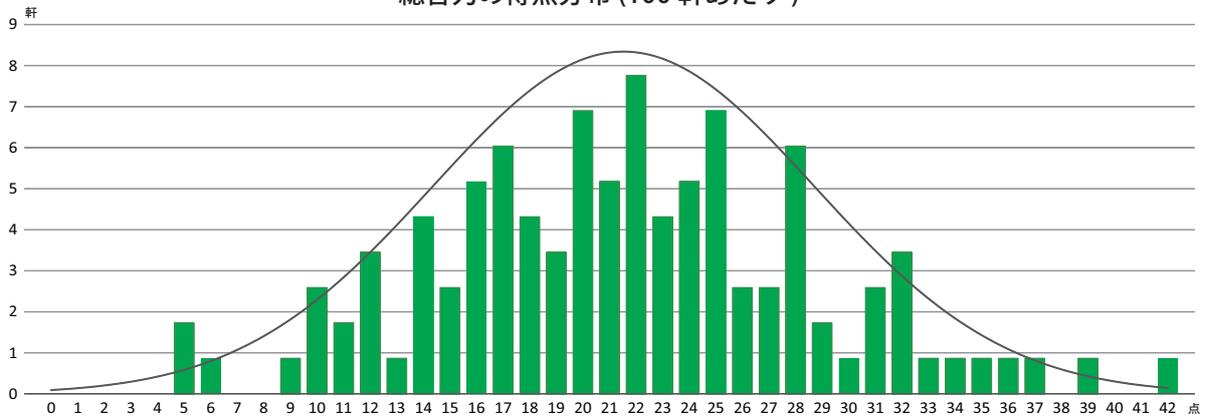
## 総合力



**あなたの住まいの総合的なレジリエンス度です。**  
「はい」が少ないほど、あなたの住まいのレジリエンス度が低いことを示します。平常時、災害発生時、災害後のうち、「はい」が少ない段階について備え方を確認することはもちろん、どの段階でもすべてが「はい」になるように備えましょう。



総合力の得点分布 (100 軒あたり)



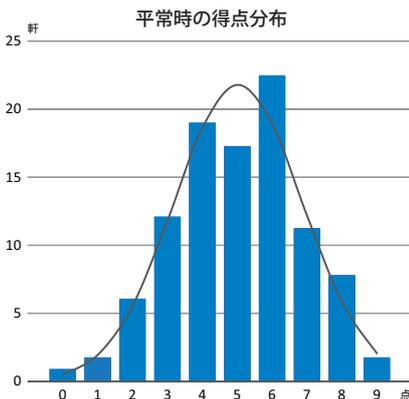
総合力の得点からあなたの住まいのランクを確認できます。

得点分布はケーススタディの結果 (n=116) を 100 軒あたりとして表したものです。

### 平常時 9点

**日ごろの健康・安全性を高めるレジリエンス度です。**

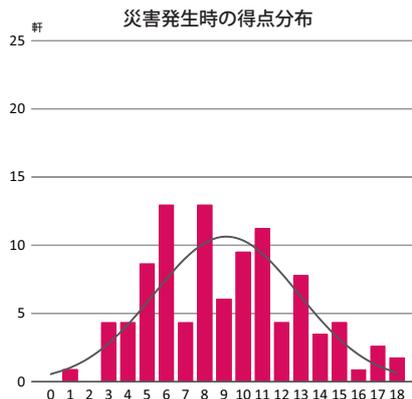
健康や体力を維持するための暮らし方や、暑すぎたり寒すぎたりすることによる体調への影響、つまずきや転倒などの事故、空き巣などの犯罪に対する備えは十分でしたか。



### 災害発生時 18点

**災害発生時の安全・減災に備えるレジリエンス度です。**

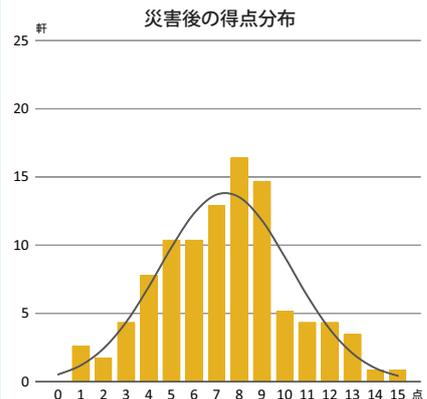
地震などの災害が発生する可能性を把握していましたか。また災害が発生した際、緊急に避難する方法や安否確認の方法などは決めてありましたか。なにより、災害が発生した時に家族の命を守るために建物や家具などについて備えておきましょう。



### 災害後 15点

**災害後の生活に備えるレジリエンス度です。**

発生した災害がひと段落した後、しばらく住宅内に退避したり、電気やガス・水道が復旧するまで待たなければいけない時のための備えはありましたか。また、避難所に避難しなければいけない時の準備はできていましたか。



## 1. 災害リスク情報について



	平常時	災害発生時	災害後
災害の発生や被害の可能性の把握		Q13,Q14,Q16,Q18,Q21,Q25	
避難所や避難ルートの確認		Q15,Q17,Q26,Q27	
避難等に関する情報の意味の確認		Q23	Q41

発生する恐れの高い災害や地域で想定される被害、避難等に関する情報は、お住まいの都道府県や市区町村が作成している「ハザードマップ」などが参考になります。都道府県や市区町村の防災担当部署にお問い合わせください。

- 国土交通省ハザードマップポータルサイト <http://disaportal.gsi.go.jp/>  
→ 国土交通省が整備を進めているWEBサイト。各都道府県や市区町村が作成しているハザードマップ等をインターネット上で一元的に閲覧できます。
- 検索キーワード：〔都道府県または市区町村名〕 + 〔ハザードマップ、防災マップ、危険度マップなど〕 + 〔災害名〕

## 2. 建物での備えについて



	平常時	災害発生時	災害後
断熱・バリアフリー・防犯性能の確保	Q1,Q2,Q5,Q6,Q7		Q30
耐震・耐風等性能の確保		Q10,Q11,Q12,Q19,Q20	
定期的なメンテナンスの実施	Q9		
情報設備、発電設備の装備	Q8	Q22	Q28

住宅内の温度環境と健康との関係や住宅内での事故を防ぐ取り組みに関する情報は、以下のWEBページが参考になります。また、都道府県や市区町村の住宅担当部署では、住宅を改修する場合の方法や補助制度などを紹介しています。

- 「CASBEE 健康チェックリスト」建築環境・省エネルギー機構 [http://www.ibec.or.jp/CASBEE/casbee\\_health/index\\_health.htm](http://www.ibec.or.jp/CASBEE/casbee_health/index_health.htm)  
→ 居住環境の健康性の異常の有無に気づき、改善のきっかけを得ることができるツール。
- 「わかりやすい！健康省エネ住宅とは」健康・省エネ住宅を推進する国民会議 <http://www.kokumin-kaigi.jp/0001.html>  
→ 住宅性能が居住者の健康に及ぼす影響等を解説。
- 検索キーワード：〔都道府県または市区町村名〕 + 〔住宅〕 + 〔ヒートショック、バリアフリーなど〕 + 〔改修〕

建築物の耐震性能については、1981年の後、2000年にも基準が強化されています。耐震診断を受けると詳細に性能を把握することができます。耐震診断・耐震改修の助成制度も用意されています。地震のほか、地域で発生する可能性の高い災害への対策や改修方法などについては、お住まいの都道府県や市区町村の建設・土木・住宅担当部署から情報提供されています。

- 「わが家の耐震」日本建築学会 [http://www.aij.or.jp/jpn/seismj/index\\_se.htm](http://www.aij.or.jp/jpn/seismj/index_se.htm)
- 「戸建て住宅の耐震診断・改修」建築防災協会 <http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/kodate/wooden.html>
- 検索キーワード：〔都道府県または市区町村名〕 + 〔住宅〕 + 〔耐震診断、耐震改修など〕  
〔都道府県または市区町村名〕 + 〔住宅〕 + 〔水害、土砂災害、強風など〕 + 〔対策、改修など〕

## 3. 暮らし方での備えについて



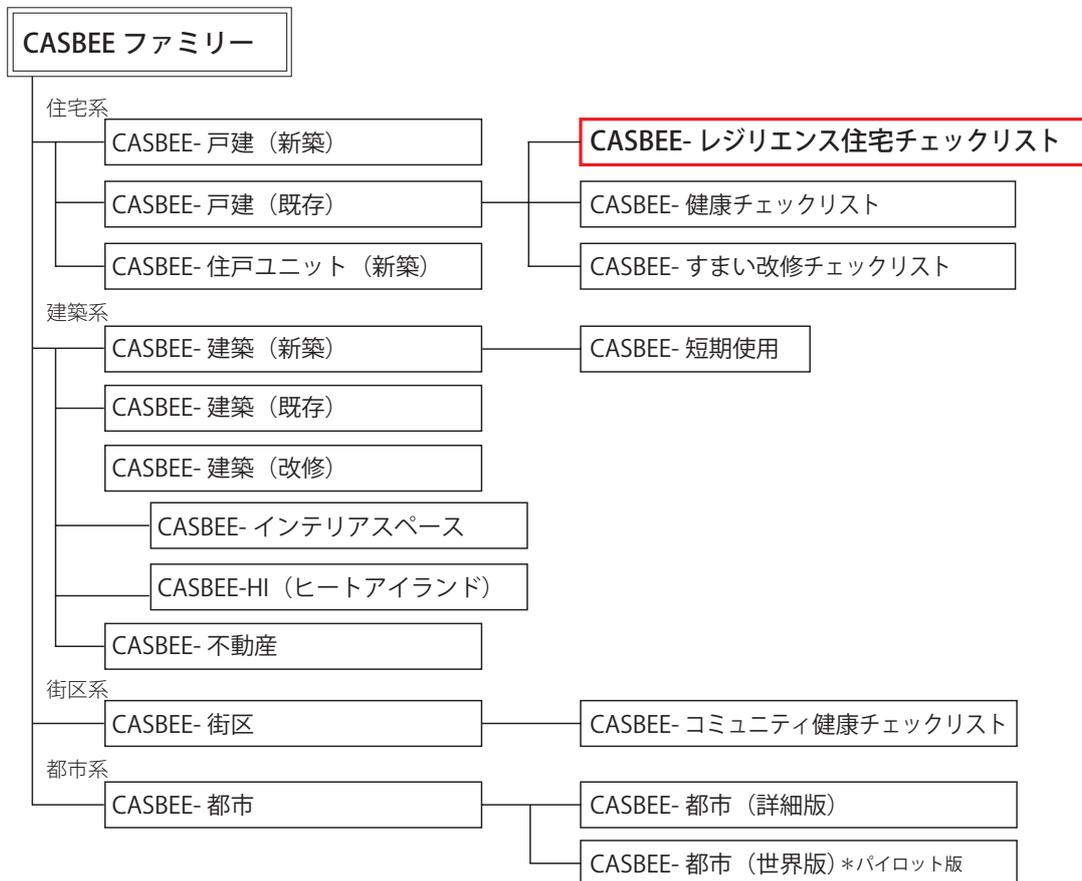
	平常時	災害発生時	災害後
健康維持・体力維持への取り組み	Q3,Q4		
緊急グッズ、備蓄、停電時の電源の備え		Q24	Q29,Q31,Q32,Q33,Q34, Q35,Q36,Q37,Q38
ご近所つきあい、防災訓練等への参加			Q39,Q40
火災保険・地震保険への加入			Q42

防災グッズや備蓄、災害時の行動、地域の防災訓練や避難訓練などについては、お住まいの都道府県や市区町村の防災担当部署から情報提供されています。広報誌や防災情報誌などのほか、インターネットでも情報提供されています。

- 検索キーワード：〔都道府県または市区町村名〕 + 〔暮らし〕 + 〔防災、備蓄、避難など〕  
例) 「東京都防災ホームページ」 <http://www.bousai.metro.tokyo.jp/1002147/>

# CASBEE<sup>®</sup> ファミリーのご紹介

CASBEEには、評価の対象や目的に合わせて様々なツールが用意されており、これを称してCASBEEファミリーと呼んでいます。ここに紹介する各ツールの内容については、CASBEEのウェブサイトより詳細をご覧くださいことができます。(CASBEEウェブサイト：<http://www.ibec.or.jp/CASBEE/>)



## ■企画・編集：

### CASBEE レジリエンス住宅検討小委員会

委員長：村上周三、幹事：三井所清史、委員：秋元孝之、岩村和夫、金谷年展、木寺康、河野守、腰原幹雄、清家剛、近田智也、中野淳太、林哲也、南雄三、山中隆一（所属・敬称略）

### CASBEE レジリエンス住宅チェックリスト WG

主査：清家剛、委員：秋元孝之、金谷年展、木寺康、河野守、腰原幹雄、近田智也、中野淳太、林哲也、三井所清史、南雄三、山中隆一、山本正顕（所属・敬称略）

## ■イラスト作成：織田博子

## ■協力：一般社団法人 レジリエンスジャパン推進協議会

<http://www.resilience-jp.biz/>

一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構

<http://www.ibec.or.jp/>

## ■発行：JSBC 一般社団法人 日本サステナブル建築協会 Japan Sustainable Building Consortium

〒102-0083 東京都千代田区麹町 3-5-1 全共連ビル麹町館

TEL:03-3222-6391 FAX:03-3222-6693

<http://www.jsbc.or.jp/>